



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月8日

東

上場会社名 株式会社エイチワン

上場取引所

コード番号 5989

URL <http://www.h1-co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長執行役員

（氏名）金田 敦

問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員管理本部長

（氏名）太田 清文 (TEL) 048-643-0010

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	110,027	37.7	41	—	179	—	△427	—	59	—	4,025	—
2022年3月期第2四半期	79,904	11.8	△1,311	—	△1,142	—	△1,404	—	△732	—	△300	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年3月期第2四半期	2.13		2.11									
2022年3月期第2四半期	△26.09		△25.81									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	209,362	79,303	76,930	36.7	2,734.98
2022年3月期	193,980	75,606	72,919	37.6	2,593.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2023年3月期	—	13.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	46.6	2,500	—	2,300	—	1,400	—	49.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 武漢愛機新能源汽车有限公司、除外 1社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	28,392,830株	2022年3月期	28,392,830株
2023年3月期2Q	264,297株	2022年3月期	279,860株
2023年3月期2Q	28,118,763株	2022年3月期2Q	28,084,127株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2023年3月期第2四半期末 262,700株、2022年3月期末 278,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ(信託E口)が所有する当社株式の期中平均株式数(2023年3月期第2四半期 272,503株、2022年3月期第2四半期 307,156株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済に関しては、新型コロナウイルス感染抑制と経済活動の両立がさらに進む一方、中国での主要都市の封鎖や、半導体をはじめとする部品供給不足によるサプライチェーンの混乱、長期化するウクライナ問題に起因した資源・エネルギー価格の高騰など先行き不透明な状況が続いております。日本では、日米の金融政策の違いによる金利差を背景とした円安の進行が原材料価格の高騰とインフレの進行に拍車をかけるなど、景気回復への影響が危惧される状況となりました。

自動車業界においては、依然として部品調達が安定せず、各自動車メーカーは工場の稼働を一時停止するなど、当社グループにおいても生産調整をせざるを得ない状況が続きました。

そのような中での当第2四半期連結累計期間の経営成績は、主力得意先向けの自動車フレームの生産台数が前年同四半期と比べ3.2%減少したものの、為替相場が前年同四半期に比べ円安水準にあったことや、金型設備等の販売が前年同四半期を上回ったことなどから売上収益が1,100億27百万円(前年同四半期比37.7%増)となりました。利益面では、付加価値の増加などにより売上総利益が82億59百万円(同60.4%増)となり、販売費及び一般管理費の増加やその他の損益が悪化しましたが、営業利益は41百万円(前年同四半期は営業損失13億11百万円)、金融損益が悪化したものの持分法による投資利益の改善があり税引前四半期利益が1億79百万円(前年同四半期は税引前四半期損失11億42百万円)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は59百万円(前年同四半期は親会社の所有者に帰属する四半期損失7億32百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて増加したことや専用設備回収が増加したことから売上収益が236億8百万円(前年同四半期比22.1%増)となりました。利益面では、製造コストの増加や第1四半期連結会計期間における土地売却益の剥落から税引前四半期損失34百万円(前年同四半期は税引前四半期利益2億6百万円)となりました。

②北米

主力得意先向けの自動車フレームの生産量は前年同四半期に比べ減少しましたが、円安効果や設備取引の増加などから売上収益は467億48百万円(前年同四半期比55.9%増)となりました。利益面では、製造コストの増加などもあり税引前四半期損失6億66百万円(前年同四半期は税引前四半期損失14億35百万円)となりました。

③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて減少したものの、円安効果などから売上収益は312億13百万円(前年同四半期比18.6%増)となり、税引前四半期利益14億23百万円(同67.0%増)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間から武漢愛機新能源汽车有限公司を連結子会社を含めております。

④アジア・大洋州

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて増加したことに加え円安効果などから売上収益は125億14百万円(前年同四半期比46.2%増)、税引前四半期損失は5億41百万円(前年同四半期は税引前四半期損失6億86百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計が2,093億62百万円(前連結会計年度末比153億82百万円増)となりました。これは棚卸資産が減少した一方で、現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権、有形固定資産などが増加したことによるものであります。

負債合計は、1,300億58百万円(同116億84百万円増)となりました。これは主に営業債務、借入金、退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

資本合計は、793億3百万円(同36億97百万円増)となりました。これは主に為替相場の円安によるその他の資本の構成要素の増加によるものであります。親会社の所有者に帰属する持分比率は36.7%(同0.9ポイントのマイナス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、有形固定資産の取得による支出、長期借入金の返済による支出等の資金の減少要因があった一方、減価償却費及び償却費、棚卸資産の減少、短期借入金の増加、長期借入による収入等の資金の増加要因によって110億25百万円(前年同四半期比63億円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ44億89百万円(66.7%)増加の112億25百万円となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加や営業債務の減少があった一方、税引前四半期利益の増加や棚卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ4億85百万円(6.2%)減少の73億78百万円となりました。これは主に土地売却による収入の剥落やその他の金融資産の取得による支出の増加があった一方、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、2億80百万円(前年同四半期は22億5百万円の稼得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	220,000	4,500	4,500	3,000	106.71
今回修正予想 (B)	250,000	2,500	2,300	1,400	49.77
増減額 (B-A)	30,000	△2,000	△2,200	△1,600	—
増減率 (%)	13.6	△44.4	△48.9	△53.3	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	170,588	△4,046	△3,714	△1,390	△49.50

(修正の理由)

2023年3月期は、上期の生産台数は前回発表時の想定を大幅に下回り、下期も半導体調達問題などから不透明な状況にあることから、通期での当社グループの自動車フレームの販売は、前回発表時の想定に比べ大半の地域で減少を予想しております。第2四半期連結累計期間の業績および為替の実績を踏まえるとともに、通期の自動車フレームの販売見通し等を踏まえ、売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を修正いたします。なお、下期の為替レートは130円/ドルを前提としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,188	11,025
営業債権及びその他の債権	41,798	45,988
棚卸資産	32,355	30,529
その他の金融資産	1,596	3,780
その他の流動資産	3,069	3,883
流動資産合計	86,008	95,206
非流動資産		
有形固定資産	89,866	94,794
無形資産	1,133	1,182
持分法で会計処理されている投資	7,350	8,420
退職給付に係る資産	2,436	1,953
その他の金融資産	5,948	6,141
繰延税金資産	749	744
その他の非流動資産	487	918
非流動資産合計	107,971	114,155
資産合計	193,980	209,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	29,013	30,548
借入金	31,142	38,181
未払法人所得税等	272	833
その他の金融負債	5,439	6,125
その他の流動負債	8,664	10,748
流動負債合計	74,532	86,437
非流動負債		
借入金	33,797	31,666
退職給付に係る負債	6,999	9,084
その他の金融負債	1,156	1,235
繰延税金負債	1,362	1,220
その他の非流動負債	525	413
非流動負債合計	43,841	43,621
負債合計	118,373	130,058
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	12,911	12,911
利益剰余金	47,584	47,307
自己株式	△209	△197
その他の資本の構成要素	8,265	12,543
親会社の所有者に帰属する 持分合計	72,919	76,930
非支配持分	2,686	2,372
資本合計	75,606	79,303
負債及び資本合計	193,980	209,362

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	79,904	110,027
売上原価	△74,754	△101,767
売上総利益	5,149	8,259
販売費及び一般管理費	△7,166	△8,199
その他の収益	908	281
その他の費用	△203	△299
営業利益(△は損失)	△1,311	41
金融収益	277	435
金融費用	△276	△468
持分法による投資利益	167	171
税引前四半期利益(△は損失)	△1,142	179
法人所得税費用	△261	△606
四半期損失	△1,404	△427
四半期損失の帰属		
親会社の所有者	△732	59
非支配持分	△671	△486
四半期損失	△1,404	△427
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△26.09	2.13
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△25.81	2.11

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期損失	△1,404	△427
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	506	△1,625
資本性金融商品の公正価値測定	116	△324
項目合計	622	△1,950
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	330	5,314
持分法によるその他の包括利益	151	1,088
項目合計	481	6,403
税引後その他の包括利益	1,104	4,452
四半期包括利益合計	△300	4,025
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	202	4,337
非支配持分	△502	△311
四半期包括利益合計	△300	4,025

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,906	49,700	△244	△1,277	763	1,070	556
四半期損失	—	—	△732	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	395	116	423	934
四半期包括利益合計	—	—	△732	—	395	116	423	934
配当金	—	—	△392	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	35	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△392	35	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	12,906	48,575	△209	△882	880	1,493	1,491

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	67,285	5,039	72,325
四半期損失	△732	△671	△1,404
その他の包括利益	934	169	1,104
四半期包括利益合計	202	△502	△300
配当金	△392	—	△392
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	35	—	35
所有者との取引額合計	△357	—	△357
四半期末残高	67,130	4,537	71,667

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,911	47,584	△209	△404	910	7,760	8,265
四半期損失	—	—	59	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,118	△324	5,721	4,277
四半期包括利益合計	—	—	59	—	△1,118	△324	5,721	4,277
配当金	—	—	△337	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	11	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△337	11	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	12,911	47,307	△197	△1,523	585	13,481	12,543

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	72,919	2,686	75,606
四半期損失	59	△486	△427
その他の包括利益	4,277	175	4,452
四半期包括利益合計	4,337	△311	4,025
配当金	△337	△2	△339
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	11	—	11
所有者との取引額合計	△325	△2	△327
四半期末残高	76,930	2,372	79,303

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	△1,142	179
減価償却費及び償却費	7,100	8,052
金融収益	△94	△159
金融費用	276	468
持分法による投資損益(△は益)	△167	△171
有形固定資産売却損益(△は益)	△656	△25
有形固定資産廃棄損	115	181
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	3,124	△844
棚卸資産の増減(△は増加)	△1,860	5,278
営業債務の増減(△は減少)	2,437	△1,614
退職後給付に係る負債の増減(△は減少)	△291	855
その他	△1,036	△376
小計	7,806	11,823
利息の受取額	22	72
配当金の受取額	132	290
利息の支払額	△276	△469
法人所得税の支払額	△949	△490
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,735	11,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,403	△6,439
有形固定資産の売却による収入	2,911	145
無形資産の取得による支出	△33	△8
その他の金融資産の取得による支出	△33	△885
その他	△304	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,863	△7,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,292	5,645
長期借入れによる収入	5,082	4,610
長期借入金の返済による支出	△7,240	△9,574
リース負債の返済による支出	△535	△625
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△392	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,205	△280
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,129	3,836
現金及び現金同等物の期首残高	3,595	7,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,724	11,025

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	15,549	29,744	26,064	8,545	79,904	—	79,904
セグメント間の内部売上収益	3,789	238	252	16	4,297	△4,297	—
計	19,338	29,983	26,317	8,562	84,202	△4,297	79,904
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	206	△1,435	852	△686	△1,062	△80	△1,142

(注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	19,896	46,465	31,153	12,512	110,027	—	110,027
セグメント間の内部売上収益	3,712	283	59	1	4,056	△4,056	—
計	23,608	46,748	31,213	12,514	114,084	△4,056	110,027
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	△34	△666	1,423	△541	181	△1	179

(注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から武漢愛機新能源汽车有限公司を連結子会社を含め、「中国」に加えております。